

新入組合員の方も、役員の方も、基礎から学べる！

# 労働組合基礎教室

今こそ基礎理論を学ぶことで、運動発展の展望を見いだそう！

6月5日～8月21日 毎週金曜日

講師＝<sup>みつくり</sup>箕作勝則、<sup>せのお</sup>妹尾知則（関西勤労協講師）

テキスト＝『講義レジュメ集』（勤労協）500円 会場＝関西勤労協会議室（森ノ宮）

- ① 6月 5日 なぜ労働組合をつくるのか
- ② 6月12日 労働組合はどのようにして生まれたか
- ③ 6月19日 労働者と労働組合の権利
- ④ 6月26日 資本主義と搾取のしくみ
- ⑤ 7月 3日 日本社会の現状とその民主的改革
- ⑥ 7月10日 要求をみんなのものに
- ⑦ 7月17日 労働組合の基本的性格と任務
- ⑧ 7月31日 労働組合の組織とたたかい方
- ⑨ 8月 7日 日本の労働組合運動の歴史と教訓
- ⑩ 8月21日 今日の情勢と労働組合運動の展望



エンゲルス生誕200年記念

# 『空想から科学へ』教室

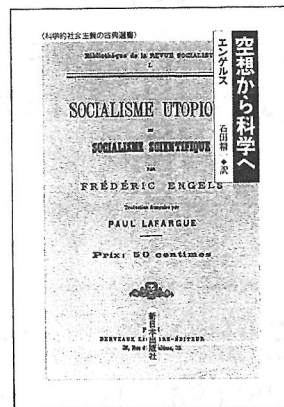
科学的社会主義の核心をエンゲルスから学ぶ！

6月2日～8月4日 毎週火曜日

講師＝<sup>みつくり</sup>箕作勝則（関西勤労協講師）

テキスト＝エンゲルス『空想から科学へ』（新日本出版社）1430円 会場＝関西勤労協会議室（森ノ宮）

- ① 6月 2日 なぜ古典を学ぶのか
- ② 6月 9日 空想的社会主義①—その理論的形式
- ③ 6月16日 空想的社会主義②—天才的思想の萌芽
- ④ 6月23日 空想的社会主義③—天才的思想の限界
- ⑤ 6月30日 哲学の発展—形而上学と弁証法
- ⑥ 7月 7日 2つの大発見—社会主義は科学になった
- ⑦ 7月14日 資本主義社会の矛盾①
- ⑧ 7月21日 資本主義社会の矛盾②
- ⑨ 7月28日 未来社会はどんな社会か
- ⑩ 8月 4日 「空想から科学へ」—その後の発展



新版『資本論』の刊行を機に!!

# 『資本論』入門教室

今こそ『資本論』から、新たな時代を切りひらく「羅針盤」を!

6月4日～8月20日 毎週木曜日

講師＝東野宏昭（関西勤労協講師）

テキスト＝レジュメ集（勤労協）500円 会場＝関西勤労協会議室（森ノ宮）

- ① 6月 4日 「商品」から『資本論』は始まる—科学的経済学の第一歩
- ② 6月11日 商品と貨幣—どのようにして商品から貨幣が生まれるのか
- ③ 6月18日 商品生産社会—なぜ、モノとカネが支配する社会になるのか
- ④ 6月25日 貨幣と資本—資本は、最初は貨幣として現われる
- ⑤ 7月 2日 労働者は資本家に何を売るのか—労働力が商品になる
- ⑥ 7月 9日 資本と剰余価値—資本主義の搾取の仕組みの解明
- ⑦ 7月16日 労働時間の短縮こそ先決条件—イギリスの労働時間短縮闘争に学ぶ
- ⑧ 7月30日 労働の生産力はどのように発展するか—協業、分業そして産業革命
- ⑨ 8月 6日 機械制大工業と労働者—未来社会の担い手の成長・発展
- ⑩ 8月20日 資本主義の発展の歴史的傾向—労働者階級の人類史的使命

# 日本近現代史教室

## 近現代史のなかの日本と朝鮮半島

—『日本近現代史を読む』（増補改訂版）をテキストに—

6月3日～8月5日 毎週水曜日

講師＝西尾泰広（関西勤労協講師）

テキスト＝『日本近現代史を読む』（増補改訂版）2200円 会場＝関西勤労協会議室（森ノ宮）

- ① 6月 3日 はじめに ※この教室の講義時間は、午後6時45分～8時45分です。
- ② 6月10日 近代日本の国家形成と朝鮮半島（第2章第3章）
- ③ 6月17日 日清戦争と朝鮮半島（第4章）
- ④ 6月24日 日露戦争と「韓国併合」（第5章第6章）
- ⑤ 7月 1日 日本による植民地支配（第9章）
- ⑥ 7月 8日 十五年戦争のなかの植民地朝鮮（第13章第15章第17章）
- ⑦ 7月15日 戦争への動員：「慰安婦」と「徴用工」
- ⑧ 7月22日 植民地支配の終焉と南北分断、朝鮮戦争（第20章）
- ⑨ 7月29日 20世紀後半の日本と朝鮮半島（第21章）
- ⑩ 8月 5日 おわりに

